



野猿やカラスの追い払いに

有限会社 青電舎
有限会社 シンク・フジ 共同開発品

鳥獣害対策用 模擬銃 (ロケット花火発射台)

模擬銃とは何ですか？

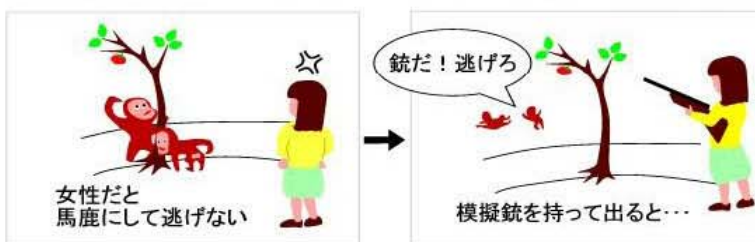
野猿やカラスなどの鳥獣に向かってロケット花火を発射し、花火の音で追い払うためのロケット花火発射台です。

模擬銃 TYPE-2



なぜ鉄砲の形をしているのですか？

- ・猿のように頭の良い動物は、本物の銃と間違えて模擬銃を見ただけで逃げ出します。
- ・ロケット花火を狙った場所（獣のいる場所）に向けて撃つことができます。



ご使用方法



① 模擬銃、ロケット花火、ライターを準備します。ロケット花火とライターはお客様にて準備願います。



② 銃身中央部のスライド蓋をずらして花火挿入口を開きます。



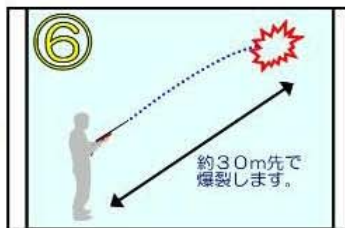
③ ロケット花火を入れます。ロケット花火は 火薬量0.5g以下 爆薬量0.15g以下のもの以外は使用しないでください。



④ ロケット花火の導火線を手前のスリットから出しておきます。



⑤ スライド蓋を閉じ、スリットから出ている導火線の先にライターで火をつけます。先の長いライター（チャッカマンなど）が安全です。



⑥ ロケット花火を発射します。導火線から火花が飛びますので、銃座の手前を持ち、顔や上体からなるべく離して発射してください。

警告・注意 (必ずお読みください)

- ・ 火薬量0.5g以下爆薬量0.15g以下のもの以外の花火は使用しないでください。
- ・ 絶対に人に向けて花火を発射しないでください。
- ・ 燃えやすいものがある場所に向けて花火を発射しないでください。
- ・ 風がある場所では使用しないでください。
- ・ 導火線に点火後、火傷をしないように模擬銃をなるべく上体から離して発射してください。
- ・ 導火線に点火後、花火が発射されなかったとしても、決して筒（銃身）をのぞきこまないでください。
- ・ 鳥獣害対策以外の目的で使用しないでください。
- ・ 本物の猟銃と見間違えられるおそれがありますので、鳥獣対策で使用する時以外は模擬銃を袋などに入れて他人から見えないようにしてください。